

平成28年度 宇都宮市立岡本北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童を育成する。

【具体目標】

「健康で明るい子ども」「よく考えて判断できる子ども」「思いやりのある子ども」「ねばり強く進んで実践する子ども」

☆子どものスローガン つよく やさしく かしこい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれ、児童の心を動かす教育活動を展開するとともに、「安心して通うことのできる学校」「自分の力を発揮できる楽しい学校」「きまりを守り互いに尊重し合う学校」「保護者や地域から信頼される学校」を目指した学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) ○生命を尊重する心や思いやりの心など豊かな心、基礎学力の向上、健康や体力の保持増進など、たくましく生きる人間力の育成に努める。
- (2) 児童の学びを支える安全で潤いのある学校環境づくりに努める。
- (3) 教職員としての使命と責務を自覚し、専門職として日々研鑽に努め、個々の指導力を高めるとともに、校内の研修会をより充実し、組織としての指導力の向上を図る。
- (4) 学校、地域、家庭との連携を密にして、地域の教育力を活用しながら、開かれた学校づくりを推進する。

〔古里地域学校園教育ビジョン〕

夢や目標をもち、その実現に向けて、よく考え、自ら鍛え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身に付ける児童生徒の育成

（趣旨）

児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望をもたせるとともに、「学ぶこと」、そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立を目指す教育に小中が一貫して取り組む。

（研究テーマ）

「コミュニケーション能力の向上」 「学ぶ意欲の向上」

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- 児童一人一人のよさや可能性を伸ばし、困難に立ち向かうたくましい児童の育成

【学 習 指 導】

- 基礎・基本の定着と、言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成
 - ・ 姿勢や返事、話の聞き方、発表の仕方などの基本的な学習態度の徹底

【児 童 生 徒 指 導】

- 自他の人権を尊重し生き生きと自己表現できる児童の育成
 - ・ きまりを守り、互いに協力し合う児童の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

- 自他の健康や安全を意識し、考えて行動する児童の育成
 - ・ 年間を通した体力向上プログラムの推進

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①児童の自己肯定感や主体性を高め、居がいを感じながら学校生活を楽しく送れるようにするため、各行事や児童会活動、北小タイム、集会活動等を工夫し、児童が主体的に活動する場を設定する。		【達成状況】 【次年度の方針】
		②児童一人一人の特性やよさを的確に把握するとともに、話をよく聞き、声をかけ、よさを認め伸ばす指導を繰り返す行う。		
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は大切なところをしっかりと教え熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①学校経営方針や学習指導要領の理解を深め、全職員一丸となり協働して教育活動に取り組む。		【達成状況】 【次年度の方針】
		②授業のねらいの明確な提示とねらいに即した振り返りの仕方、構造的な板書等を工夫することにより、児童が主体的に学ぼうとする授業づくりを推進する。		
		③互いに見せ合う一人一授業の実施により、同僚性を高めるとともに、教職員の授業力向上に努める。		
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①「学習の約束」「生活の約束」を各教室に日常的に掲示し、指導するとともに、各家庭に配付し、約束の内容と意義を児童・保護者・職員が共有し、全職員・保護者が共通理解の下、連携して指導できるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
		②毎月「ふりかえりタイム」を設定し、きまりやマナーについて自己評価をしたり、週に一度打合せ時に生活目標の達成状況等について話し合ったりする場を設け、全職員共通理解の下、指導を繰り返す行う。		
	A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体のアンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	①T・T、少人数指導、習熟度別学習等を取り入れ、より効果的な指導を行うとともに、個に応じた授業の展開を工夫し、学力の向上を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
		②各教科等において、基礎的・基本的な知識や技能が確実に定着するように、教材教具や教育機器等を効果的に活用したり、ペア・グループ学習等の学習形態を工夫したりして、分かる魅力ある授業を実践する。		

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体のアンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①いじめは絶対に許されない行為であることを、朝の会、帰りの会、道徳の時間、学級活動などを通して継続的に指導し、人権に配慮した学級づくりを心がけていくことにより、「いじめはしない。」という児童の意識化を図る。 ②いじめに関するアンケート調査、なんでも相談、いじめゼロ集会、いじめゼロリボンの配付、ケース会議やブロック会議の計画的かつ必要に応じた実施等、いじめの未然防止・早期発見につながる日常的な取組に加え、緊急時にはいじめ対策委員会を実施する等組織的に対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課・授業・行事などは適切に実施されている」⇒教職員・保護者の肯定的回答 90%以上	①週案による時数管理を確実にを行うとともに、学校行事終了後の振り返りや中間評価等により、次年度の教育課程の工夫改善を行う。 ②PTA、古里地域学校園、地域協議会等との十分な行事調整を図りながら、年間行事予定を作成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学年便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上	①年3回学校公開日（土曜授業2日、平日の授業公開1日）を設け、保護者及び地域住民への参観を呼びかける。 ②学校・学年だよりや各種便りの発行と学校ホームページの定期的な発信に努めるとともに、伝える内容の精選と見やすく分かりやすい表現についてさらに工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等が連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	①PTA、地域協議会、自治会、民児協等と連携し、学校支援ボランティアの協力を得ながら、教育活動の充実や登下校の安全確保、児童の健全育成に努める。 ②地域にある事業所や専門性をもつ人材等の協力・参画を得た授業を積極的に取り入れ、地域の教育力を生かした教育活動をさらに推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるな	①清掃の手順を明確にしたり、身の回りの整頓やごみを落とさない、落ちているごみは拾うなどの指導を学級活動で話し合ったりし、児童の清掃及び環境美化への意識を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】

		ど、学習しやすい環境である」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	②毎月の安全点検、月例検査、各教室・特別教室・資料室等の備品整理や設備修理を定期的・日常的に実施し、安全で学習しやすい環境づくりに努める。		
		B 1 「魅力ある学校づくり地域協議会」の経営参画を積極的に進めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、魅力ある学校づくり地域協議会と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①今年度の努力点や学校で課題となっていることを積極的に説明し、地域協議会の意見を反映するとともに学校と地域が一体となって課題解決にあたる。 ②地域コーディネーターと連携を図り、学習支援ボランティアの活動を見直したり拡充したりして、より充実した人材・施設の活用を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
教育活動の状況	生活	A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じたあいさつをしている」⇒児童と保護者の肯定的回答 80%以上	①古里地域学校園や地域協議会と連携した児童会による朝のあいさつ運動、毎週水曜日のあいさつボランティアによるあいさつ運動を継続して行い、あいさつの意識化・実践化を図る。 ②学級懇談や学校・学年だより等を通して、あいさつの意義や児童の様子を伝え等積極的に働きかけ、学校・家庭・地域が一体となって指導の徹底を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
		A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒児童と保護者の肯定的回答 80%以上	①相手の立場や時と場に応じた正しい言葉づかいを発達段階に応じてその場で具体的に示し、全校体制でよりよい言語環境へ向けて繰り返し指導する。 ②人を傷つける言葉については、徹底的に指導し、児童・保護者・地域住民・教職員の共有のもと、指導の一体化を図り、よりよい人間関係が育んでいけるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
		B 2 児童は、互いに協力して活動している。 【数値指標】 独自アンケートの「児童は、学校行事や児童会活動、縦割り班活動などにおいて、協力して活動している。」 ⇒児童、教職員の肯定的回答 90%以上	①学級等において、日常的に協力することの大切さを指導するとともに、道徳の時間においても協力・協調の態度を育む指導を重点化する。 ②学級の係活動や児童会活動、縦割り班活動、学校行事等において、児童が協力して活動する場を意図的に設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
	健康・体力	A 12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後な	①元気っこ体力チェックの結果を踏まえ、教科体育や体育的行事を通して、児童が目標を決めて進んで取り組めるように、各種の検定やがんばりカードなどを工夫改善し、指導に生かす。		【達成状況】 【次年度の方針】

	ど、積極的に運動をしている」⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	②北小タイムやロング昼休みなど、児童に積極的に外遊びをするように奨励する。	
	A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	①食の大切さや楽しさを実感できる学級活動や家庭科の授業を実践するとともに、給食がんばりカードを活用し、食に対する関心を高める。 ②学級懇談や個人懇談等において、給食の状況について伝えたり、食育だよりを定期的に発行したりして、食の大切さについて保護者への啓発を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 児童は、進んで自分の健康づくりに取り組んでいる。 【数値指標】 独自アンケートの「私は、健康に気を付けて、規則正しい生活をしている」⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上	①早寝早起き・朝ごはんの摂取について、家庭と連携を図りながら繰り返し指導する。 ②テレビ、ゲーム機、スマホゲーム等の利用時間や利用方法などについて日常的に指導し、規則正しく健全な生活を送ることができるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
学 習	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	①魅力のある学習課題及び提示の仕方を工夫するとともに、「分かる」「できる」授業の展開に努め、自信をもって意欲的に学習に取り組めるようにする。 ②児童が「話す」スキルを習得できるように、積極的にグループ学習を取り入れたり、テーマを決めて話す場を設定したりするように努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	①「学習の約束」「話し方・聞き方の約束」をもとに、学習に取り組む態度や姿勢について、発達段階に応じた指導を繰り返す行う。 ②クラブや委員会活動、出授業、補教等で見取った児童の様子やよさを認め励ましたり、随時担任に伝えたりして、全校体制で児童の指導に継続して取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 家庭学習を続ける習慣が身についている。 【数値指標】 独自アンケートの「私は、宿題や自主学習を計画的に行っている」⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	①古里地域学校園で作成した「家庭学習のすすめ」を活用し、児童の実態に応じて、宿題及び家庭学習の内容や分量、方法を具体的に示し、家庭学習の習慣化を図る。 ②家庭学習の意義や学校での指導内容について、学級懇談会や学年だより等で保護者に知らせ、理解や協力を得られるように努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	B5 自分の考えをもち、進んで表現し、学び合える児童を育成する。 【数値指標】 独自アンケートの「児童は、思ったことや考えたこと、感じたことを、自分の言葉で表現している」⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	①児童が必要性を感じたり、関心・意欲をもって取り組んだりできる言語活動の場を意図的・計画的に設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】
		②ノートや学習プリントに本時の振り返りを記入したり、発表ボードに自分の考え方をまとめたりする活動を充実させ、意欲的に自分の考えや思いを表現できる児童の育成に努める。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。